

東リ株式会社(本社:兵庫県伊丹市 代表取締役社長:永嶋元博)は、
2024年8月28日、北浜フォーラム(大阪証券取引所ビル3 階)
9月 5日、日経茅場町カンファレンスルーム(日経茅場町別館B1F)
主催:公益社団法人 日本証券アナリスト協会
において個人投資家様向け会社説明会を開催致しました。

当日の資料を後頁に掲載しておりますので、ご一読いただければ幸いです。

今後も継続的かつタイムリーな情報開示に留意し、皆様からのご理解、ご信頼を
得られますよう努めてまいります。

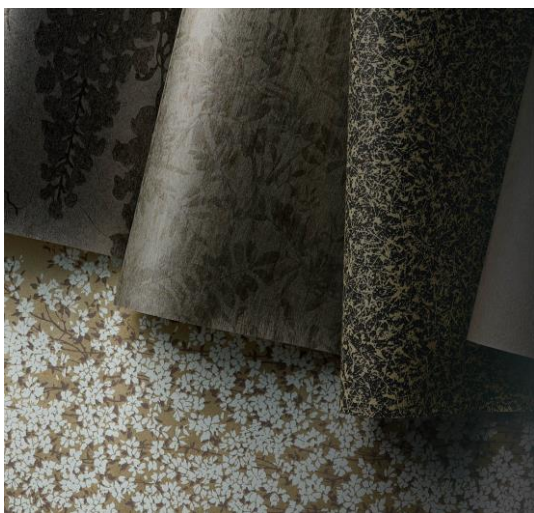
当社グループへのご愛顧を引き続きよろしくお願い申し上げます。



東リ株式会社

個人投資家さま向け

会社説明会資料



東リ株式会社

2024年8月・9月

01	会社概要	P.2
02	業績推移	P.9
03	成長戦略	P.14
04	業績予想・株式情報	P.22

01 会社概要	P.2
02 業績推移	P.9
03 成長戦略	P.14
04 業績予想・株式情報	P.22

- 会社名 / 東リ株式会社
- 業 態 / インテリア商品の製造及び販売
- 創 業 / 1919年(大正8年)12月1日
- 本社所在地 / 兵庫県伊丹市東有岡5丁目125番地
- 売 上 高 / 連結 1,024億70百万円(2024/3月期)
- 従 業 員 数 / 連結 1,883名 単体 883名
- 上場取引所 / 東京証券取引所 スタンダード市場 (証券コード:7971)
※2023年10月20日よりプライム市場からスタンダード市場へ市場区分を変更
- 売 買 単 位 / 100株

沿革



よろこびを敷きつめる

- 1919年(大正8年)
東洋リノリウム(株)設立



- 1920年
国産初のリノリウム完成

- 1949年
東京・大阪証券取引所
に株式上場

- 1957年
ビニル床タイル事業進出

- 1967年
繊維系床材事業進出

- 1984年
カーテン事業進出

- 1986年
壁装材事業進出

- 1991年
東リ株式会社へ社名変更



- 2014年
東璃(上海)貿易有限公司を設立

- 2019年
・シンガポール Branch Officeを開設

- 2020年
・江蘇長隆裝飾材料科技有限公司での合併事業開始

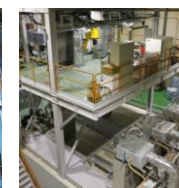
- 2021年-2024年

3つの重要設備投資の推進

- ① タイルカーペット用リサイクルプラント建設
- ② カーペット用ナイロン紡糸の内製開始
- ③ 広化東リフロア新3号ライン建設



①



②



③

- 2024年
TOLI North America Corporationを設立

国内・海外拠点

(営業・在庫拠点)



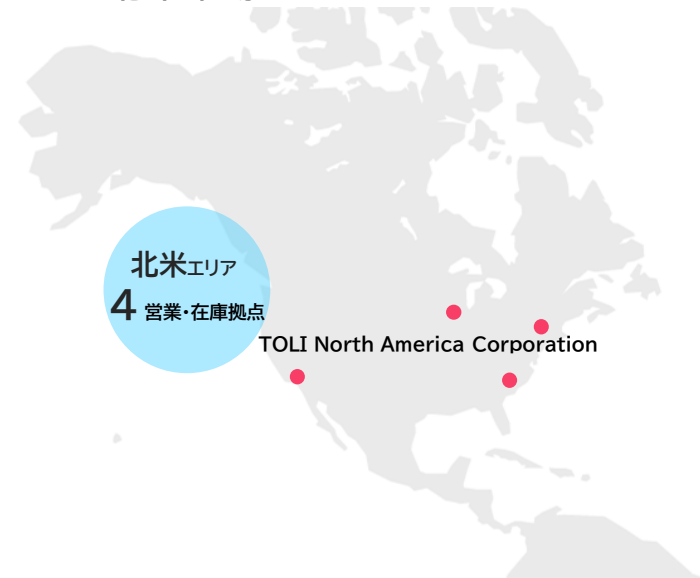
よろこびを敷きつめる

アジア市場

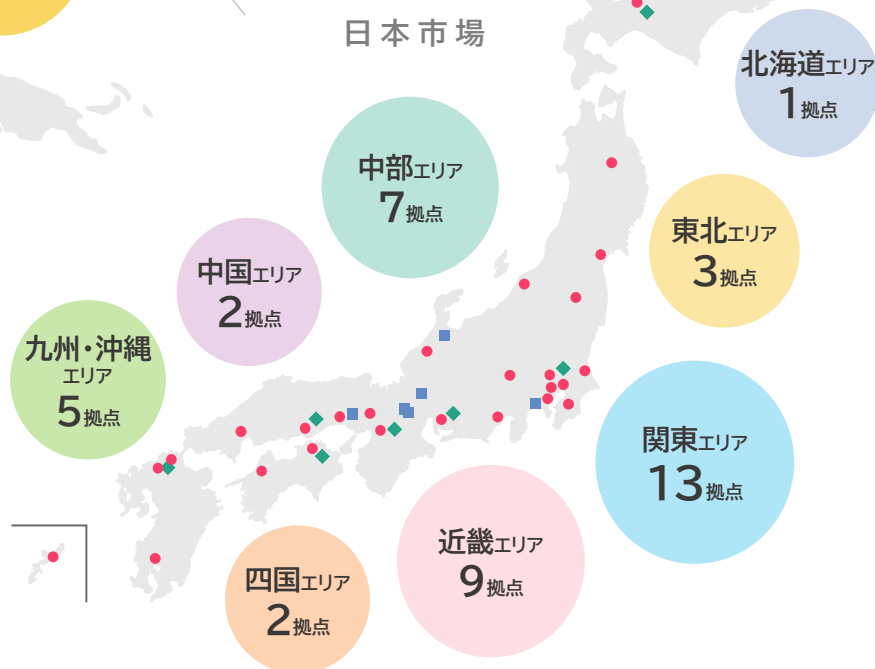


- 海外 **7** ヶ所の営業・在庫拠点(連結子会社含む)
- 世界 **20** の国や地域に **30** の販売代理店
- 中国に **1** ヶ所の生産拠点(持分法適用会社)

北米市場



日本市場



- 北海道から沖縄まで国内 **42** 営業拠点
(東リ単体の拠点数)
- 国内に約 **370** 社の販売代理店
- 国内 **6** ヶ所の生産工場(連結子会社含む)
- ◆ 国内 **7** ヶ所のショールーム

採用物件 納入事例

納入事例紹介ページ



<https://www.toli.co.jp/product/casestudy>

市場別 商品紹介

暮らしの東リ図鑑



<https://www.toli.co.jp/market/>

東リグループの製品分野と売上構成



よろこびを敷きつめる

工事業



インテリア関連製品の施工等

インテリア卸事業 (東リ製品を除く)

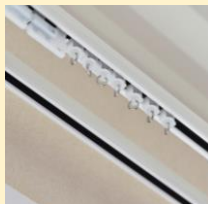


他社インテリア関連製品の仕入れ販売

ウィンドウトリートメント



カーテン



カーテンレール・ブラインド等(仕入商品)

壁装材



ビニル壁紙



不燃化粧仕上げ材
リアルデコ

接着剤及び副資材

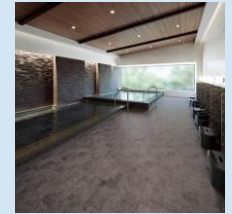


ビニル系床材用／カーペット用 接着剤

ビニル系床材

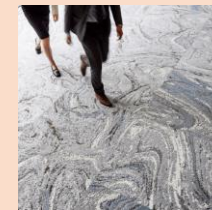


ビニル床タイル



ビニル床シート

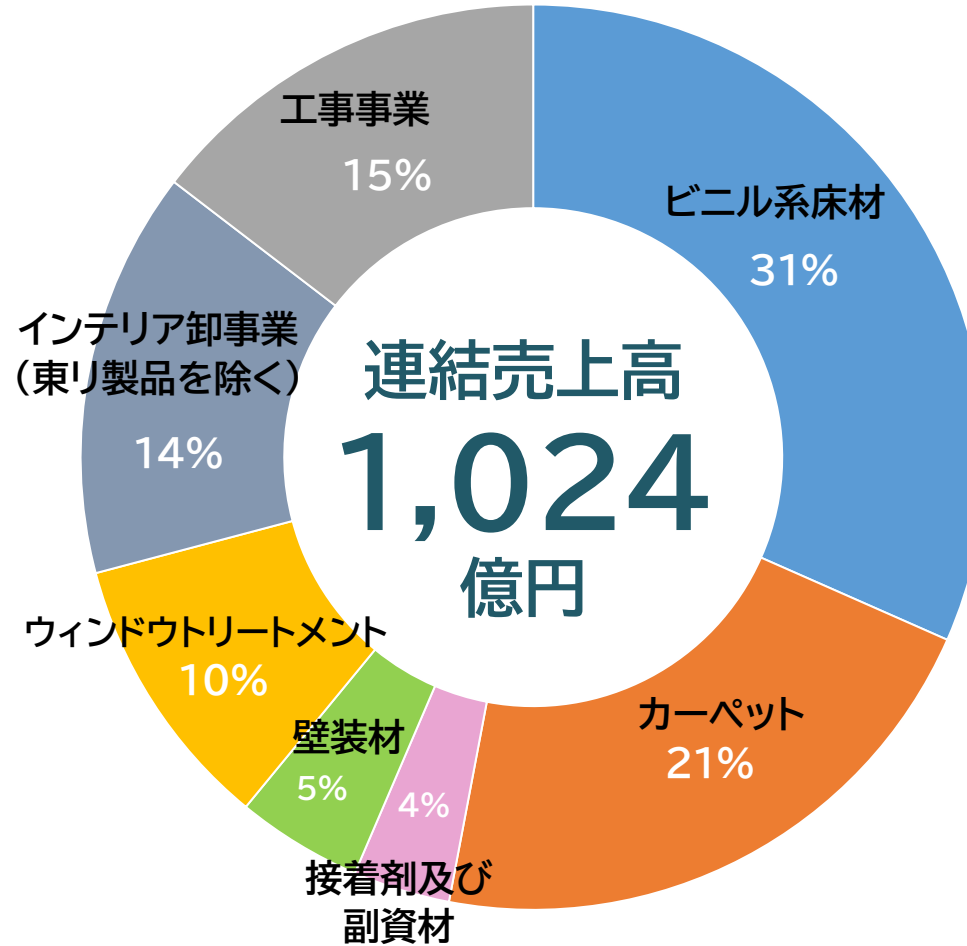
カーペット



タイルカーペット



ロールカーペット



東リグループの特徴と強み



よろこびを敷きつめる

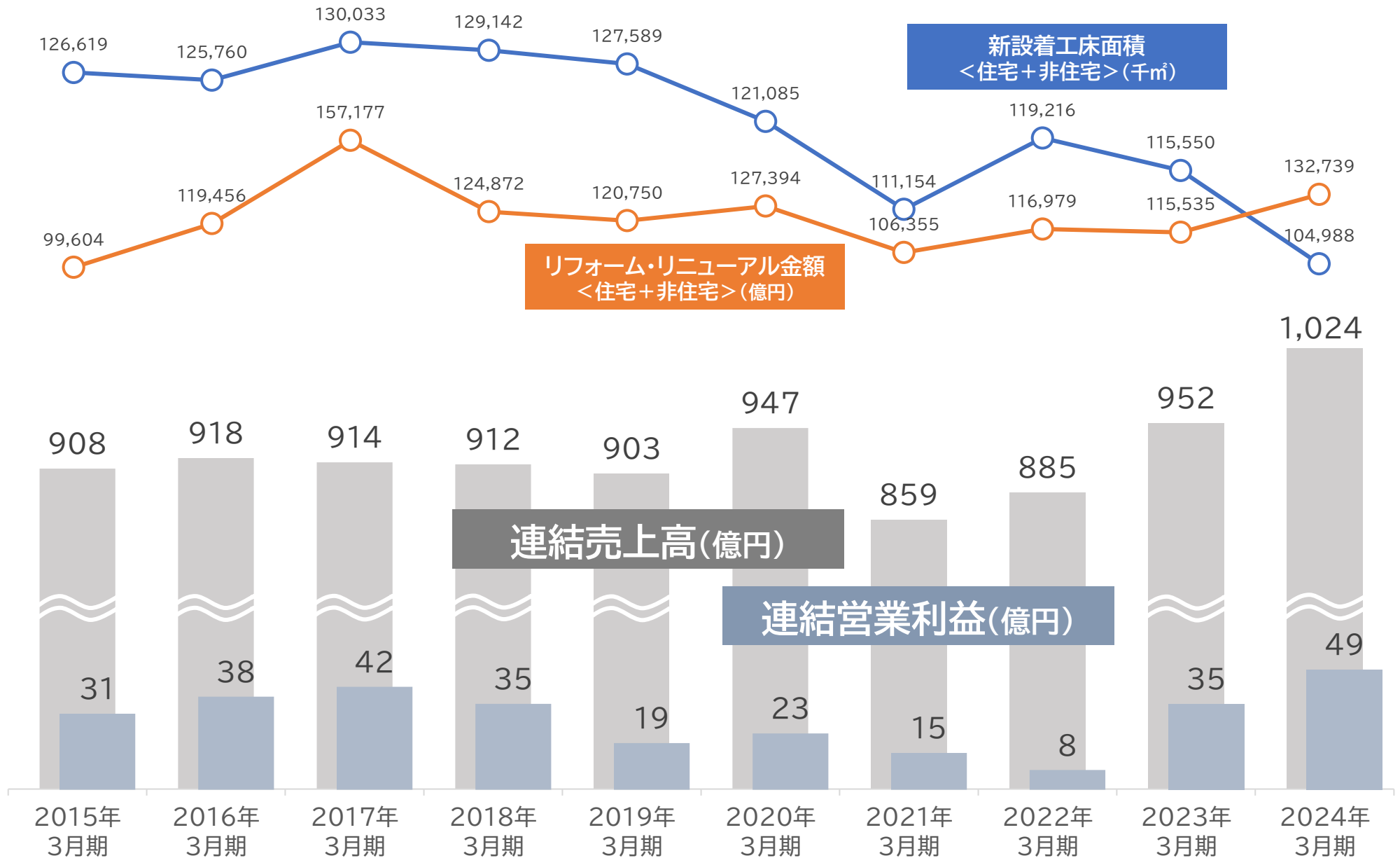
東リグループは、百年の歴史で培った信頼と技術をベースに、商品の企画・デザインから製造・販売・物流・施工・アフターフォローに至るまでをグループで一貫して推進し、さまざまなニーズにお応えすることで、更なる「信頼と技術」を蓄積することが強みです。



01 会社概要	P.2
02 業績推移	P.9
03 成長戦略	P.14
04 業績予想・株式情報	P.22

事業環境と連結業績推移

出典：国土交通省「建築着工統計調査」及び「建築物リフォーム・リニューアル調査」



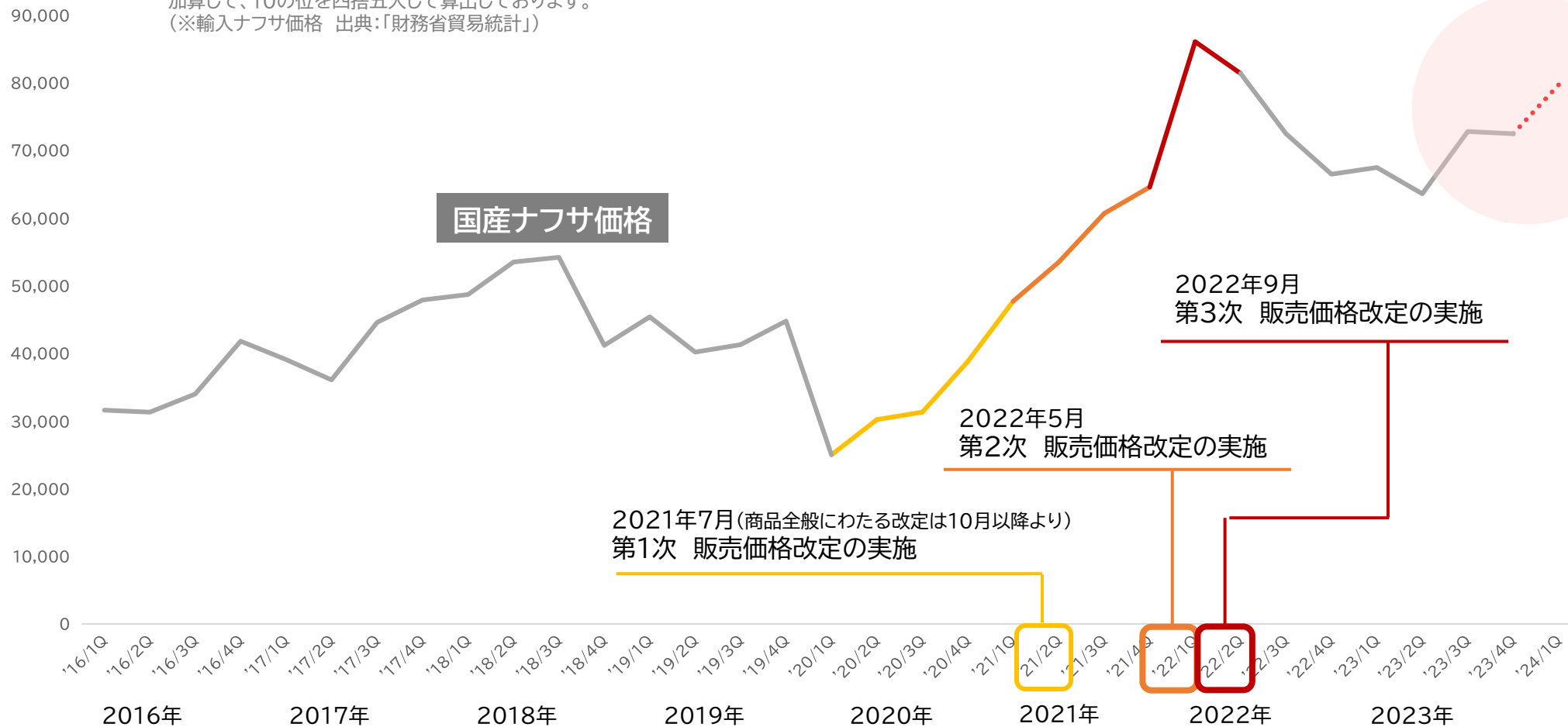
原材料価格の上昇と販売価格の改定

2021年から2022年にかけて、急激に高騰した原材料価格に対して、数次にわたる販売価格改定を実施しました。原材料価格は高止まり状態が続く中、直近ではさらなる高騰の兆しが見られます。

国産ナフサ価格の推移 と 販売価格改定の実施時期

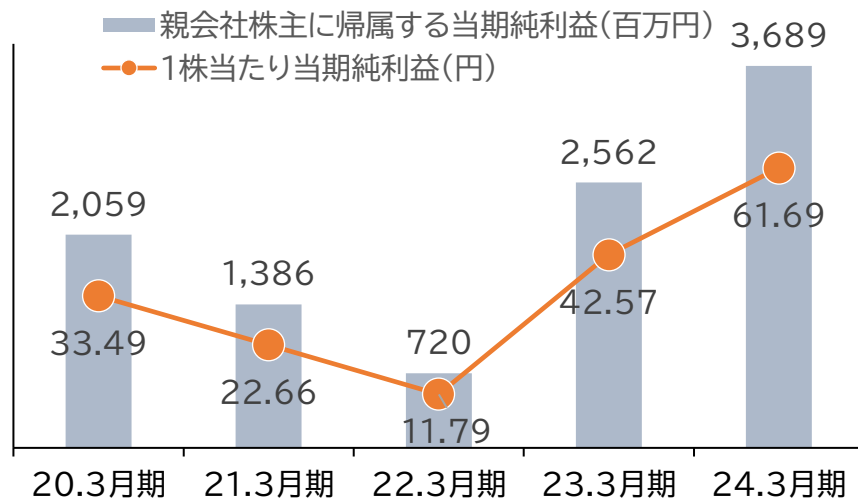
(単位:円/KL)

国産ナフサ輸入価格は、輸入ナフサ価格の3ヶ月平均値に2,000円/KLを加算して、10の位を四捨五入して算出しております。
(※輸入ナフサ価格 出典:「財務省貿易統計」)



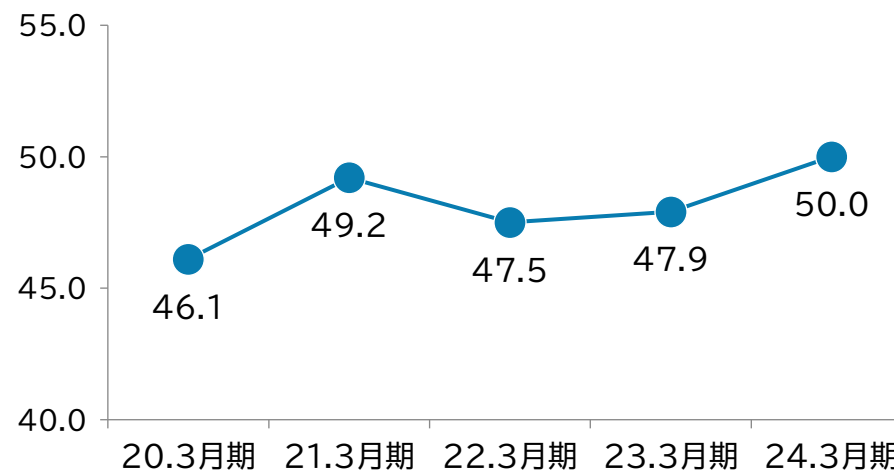
主な経営指標(連結) -1

純利益・EPS



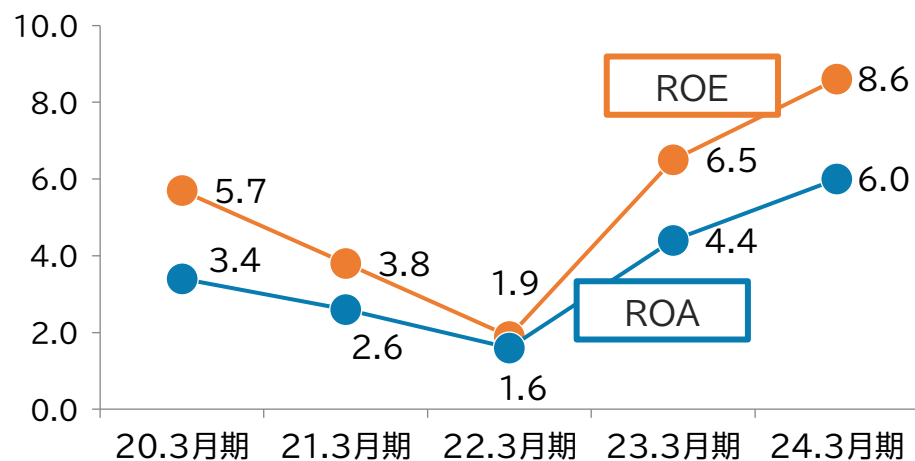
自己資本比率

(%)



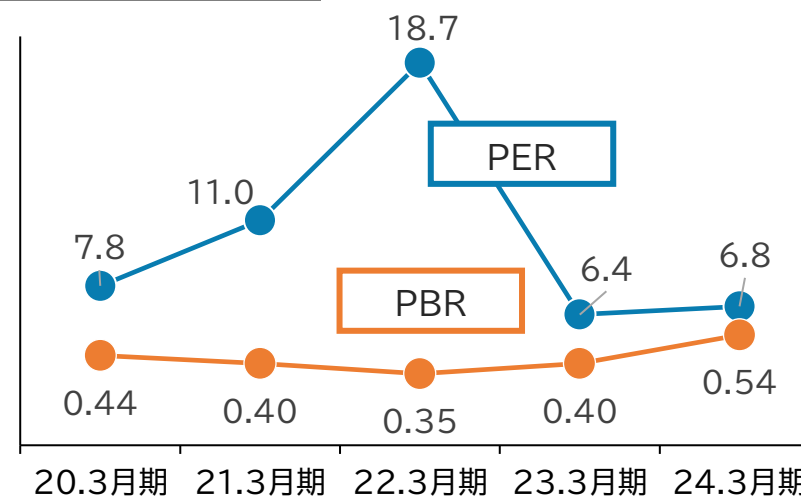
ROA・ROE

(%)



PER・PBR

(倍)



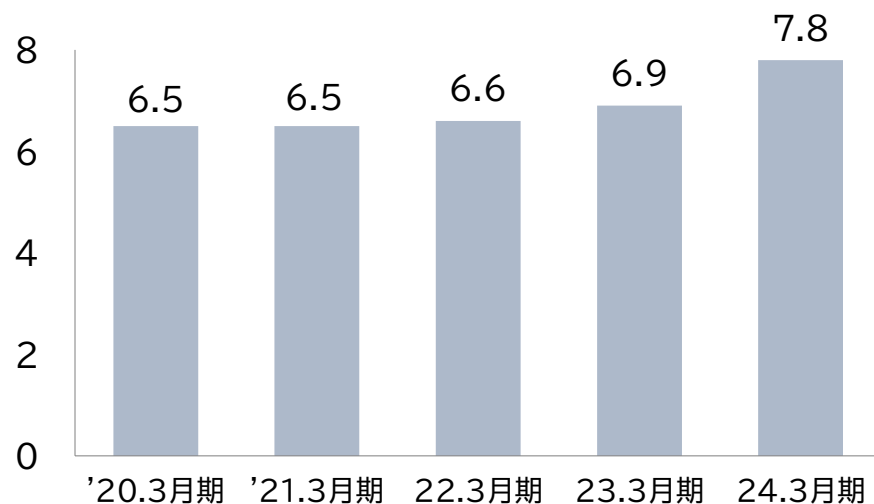
主な経営指標(連結) -2



よろこびを敷きつめる

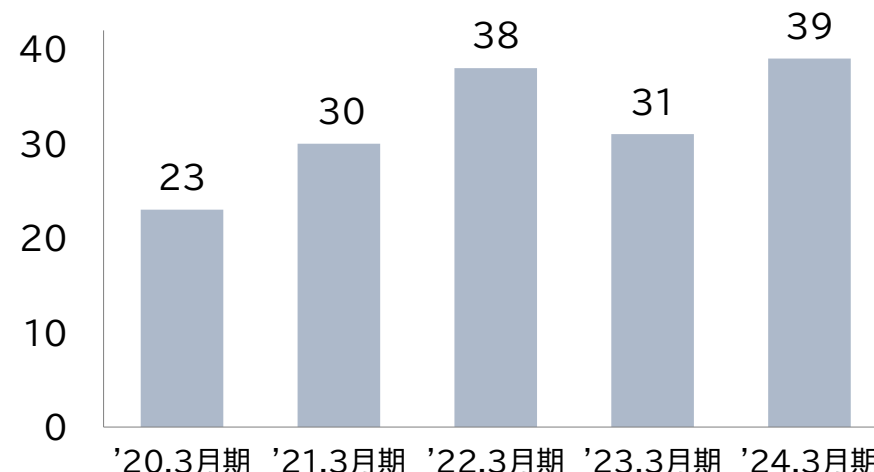
研究開発費

(億円)



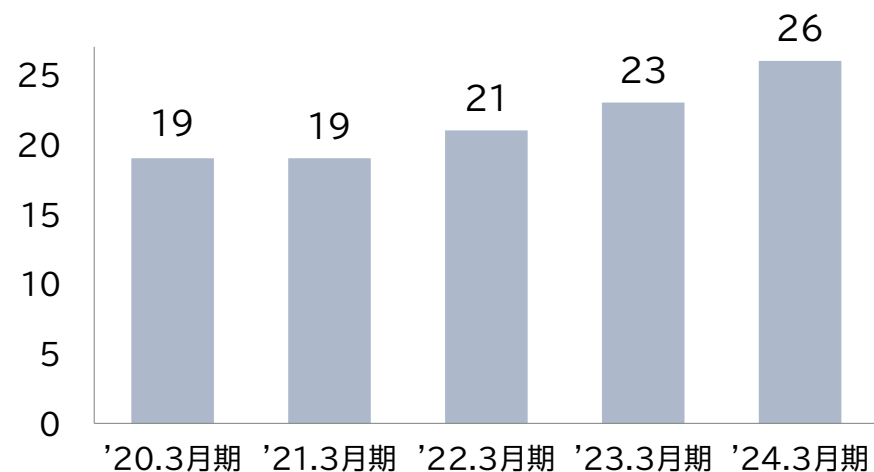
設備投資額

(億円)



減価償却費

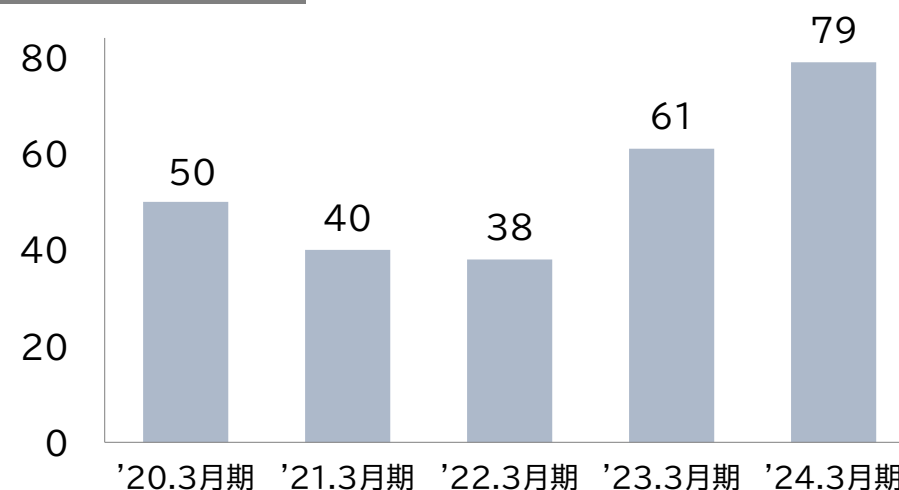
(億円)



※キャッシュ・フローベース

EBITDA

(億円)



※EBITDA: 税金等調整前当期純利益－受取利息＋支払利息＋減価償却費＋減損損失

01	会社概要	P.2
02	業績推移	P.9
03	成長戦略	P.14
04	業績予想・株式情報	P.22

長期ビジョン<TOLI VISION 2030>の実現に向けた 事業環境認識と対処すべき課題

国内新設建築着工量の伸び悩み

- 技術開発力の強化
- 事業領域の拡大
- グローバル事業の推進

気候変動リスクの高まり

- 安心・安全のモノづくり
- 地球環境保全への取り組み

社会的課題に対する意識の高まり

- ESG経営の推進
- コーポレート・ガバナンスの強化

原材料調達環境の変化

- サプライチェーンの最適化

自然災害・パンデミックの発生

- BCP(事業継続計画)

労働人口の減少

- 人材の確保
- 物流体制の再構築

サイバー攻撃の高度化

- 情報セキュリティの強化

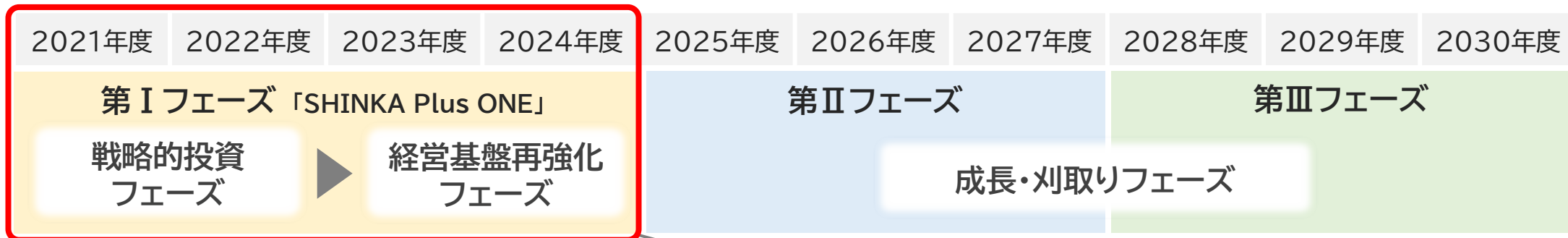
TOLI VISION 2030



ライフスタイルをデザインする企業へ

長期ビジョン達成に向けた計画

《 中期経営計画のスケジュール 》



《 目標指標 》

経営指標	2023年度実績	2024年度まで
売上高	1,024億円	1,000億円以上
営業利益	49億円	40億円以上
ROE	8.6%	7.0%以上
環境負荷低減目標	2023年度実績	2024年度まで
CO ₂ 排出量 (スコープ1・2※1)(2020年度比)	6.9%	—
リサイクル率※2	84.2%	85%以上
産業廃棄物排出量※3 (2019年度比)	45.9%削減	40%以上削減

<TOLI VISION 2030>

2030年度まで
売上高1,000億円企業としての安定的成長
早期に60億円以上
10.0%以上
2030年度まで
30%削減
90%以上
60%以上削減

※1 スコープ1：東リグループの燃料使用にともなう直接排出

スコープ2：東リグループが他社から購入した電気の使用にともなう間接排出

※2 東リグループ国内主要生産拠点・東リ物流㈱および本社の排出物に占める、グループ内リサイクル+有価リサイクルの割合

※3 東リグループ国内主要生産拠点・東リ物流㈱および本社の排出物のうち、グループ内リサイクル+有価リサイクル以外の排出物

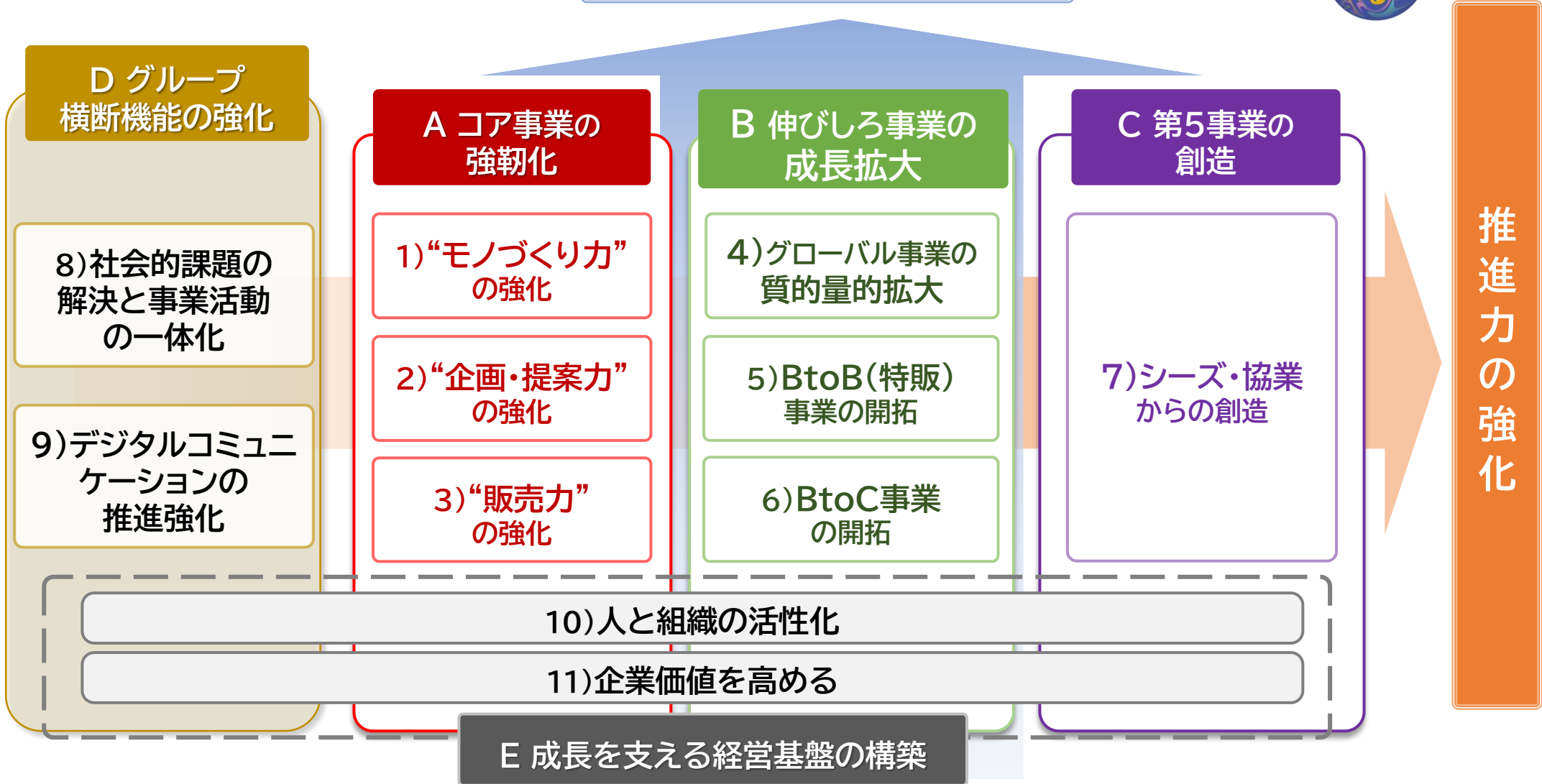
「SHINKA Plus ONE」戦略体系図



よろこびを敷きつめる

長期ビジョンの達成

TOLI VISION 2030



A～E : 5つの重点戦略

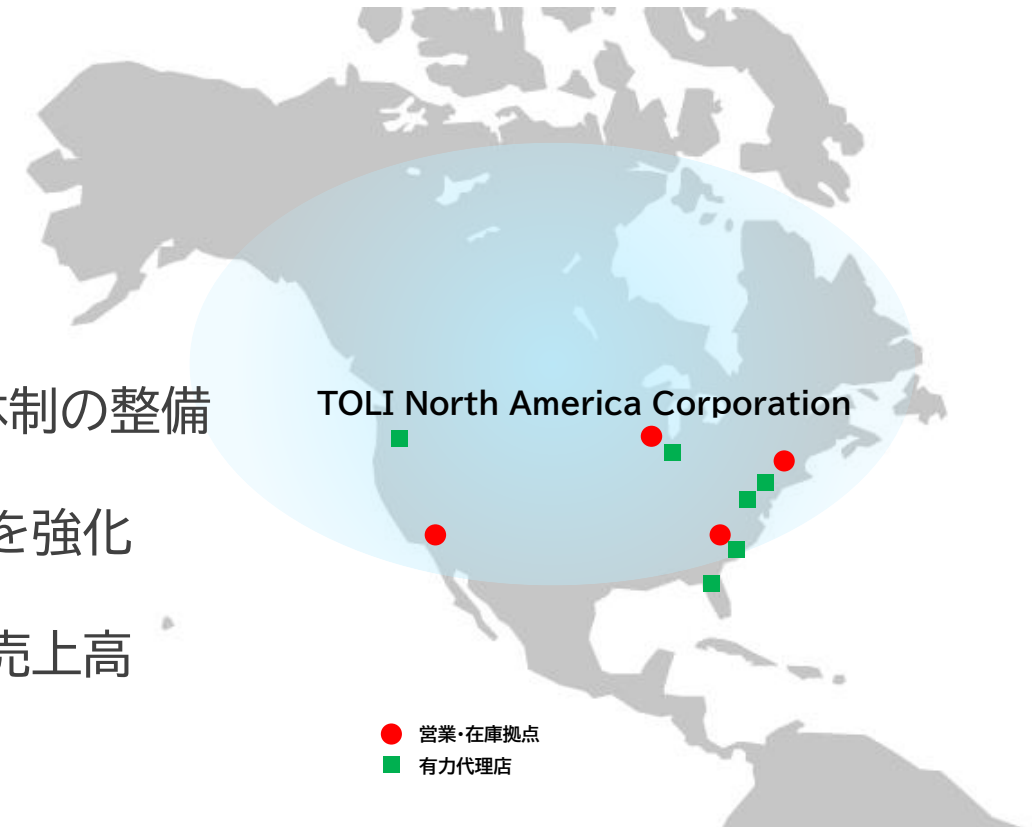
1)～11) : 11の取組みテーマ

36の実行戦略(表記無し)

『TOLI North America Corporation』が始動

北米市場でのさらなる販売強化を目的に、当社100%出資の米国現地法人を設立。
「TOLI ブランド」の浸透を加速させます。

- 未開拓の西部エリアでの販路拡大
- 現地有力代理店とのタイアップ強化
- ビニル系床材を主体とする現地在庫販売体制の整備
- デザイン事務所・設計事務所への販促活動を強化
- 当面の目標として、3年後(2027年度)の売上高7百万ドル(約10億円)を目指す



新たな美意識をコンセプトに、上質な空間を提供する新ブランド見本帳 『TOLI GRAND WALL COLLECTION』を発売

グランウォール コレクション



素材本来の表情に日本の伝統性や現代のスタイルを掛け合わせた多彩な壁紙を収録しました。
「TOLI GRAND WALL COLLECTION」は新たな美意識をコンセプトに上質な空間をご提案します。

「ジャパndeザイン」と「心地よさ」をコンセプトに、人々の暮らしを豊かにする
タイルカーペット『GXシリーズ』を発売

Japan Design × 心地よさの追求

日本の感性と確かな品質

Interior Trend



柄の繋がり・質感など細部までこだわった商品や1メートル角といった独自性の高い商品など多数ラインアップ

01 会社概要	P.2
02 業績推移	P.9
03 成長戦略	P.14
04 業績予想・株式情報	P.22

2025年3月期 第1四半期 連結決算概要

(単位:百万円 ※単位未満切り捨て)

	2024年3月期 第1四半期	2025年3月期 第1四半期		
	実績	実績	前期比(%)	前期差
売上高	22,294	22,672	+ 1.7	+ 378
売上総利益 (売上高比率)	6,551 (29.4%)	6,679 (29.5%)	+ 2.0	+ 128
販売費及び一般管理費 (売上高比率)	6,017 (27.0%)	6,198 (27.3%)	+ 3.0	+ 181
営業利益 (売上高比率)	534 (2.4%)	481 (2.1%)	▲ 9.9	▲ 53
経常利益 (売上高比率)	651 (2.9%)	657 (2.9%)	+ 0.9	+ 5
親会社株主に帰属する四半期純利益 (売上高比率)	391 (1.8%)	399 (1.8%)	+ 2.0	+ 7

Point

- サプライチェーン全体にわたる労務費の増加や原材料価格の高騰など、原価上昇圧力が高まる中、販売価格の底上げや高付加価値製品の販売増などにより、売上高及び売上総利益は前年を上回りました。
- 「2024年問題」への対応による物流費や人件費、販売促進費等の上昇などが営業利益の下押し要因となりました。

2025年3月期 連結業績見通し

※ 5/8発表 上期・通期の業績予想からの修正はありません

(単位:百万円 ※単位未満切り捨て)

	2024年3月期		2025年3月期 業績予想値 (5/8発表)			
	上期 (4-9月)	通期	上期(4-9月)		通期	
				前期比(%)		前期比(%)
売上高	46,448	102,470	47,500	+ 2.3	105,000	+ 2.5
営業利益	1,304	4,978	700	▲ 46.3	4,100	▲ 17.6
経常利益	1,447	5,240	800	▲ 44.7	4,250	▲ 18.9
親会社株主に帰属する 四半期／当期純利益	869	3,689	500	▲ 42.5	3,000	▲ 18.7

Point

- 中期経営計画『SHINKA Plus ONE』最終年度経営指標、連結売上高1,000億円以上、連結営業利益40億円以上の達成を目指します。

2025年3月期(「SHINKA Plus ONE」最終年度)の取り組み施策

■ 売上の拡大

- 5月・7月発売、並びに今秋発売予定の新製品販促活動への注力
- 「GA-3600 サスティブバック」をはじめとする環境配慮型製品のさらなる拡充
- お客様のニーズにフィットした「伸びしろ」製品のさらなる拡販
- 新製品発表会や各種展示会を活用したブランド力の向上 など

■ 製造原価低減と新製品開発

- 「SHINKA Plus ONE」における3つの重要設備投資案件(※)によるさらなるコストダウンと品質改良 (※)タイルカーペットリサイクルプラント、カーペット用ナイロン紡糸機、広化東リフロア新3号ライン
- 次世代新製品の早期開発 など

■ 次期中期経営計画の策定

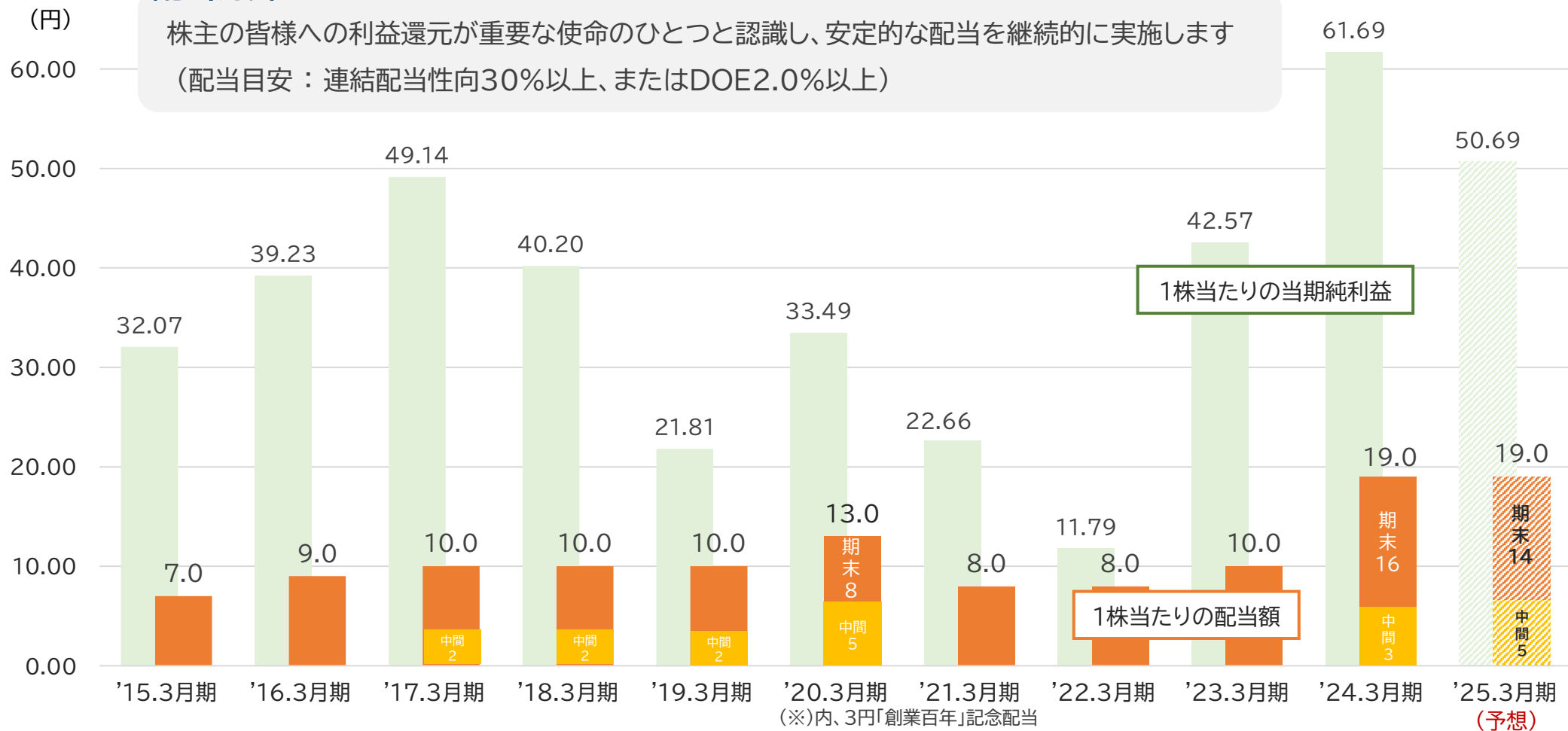
- 現中計「SHINKA Plus ONE」の総点検と次の成長に向けた事業戦略の立案
- 戦略に基づくキャピタルアロケーション計画の立案(設備投資・人的投資・株主還元 等) など

配当方針と実績

1株当たりの当期純利益 及び 配当実績の推移

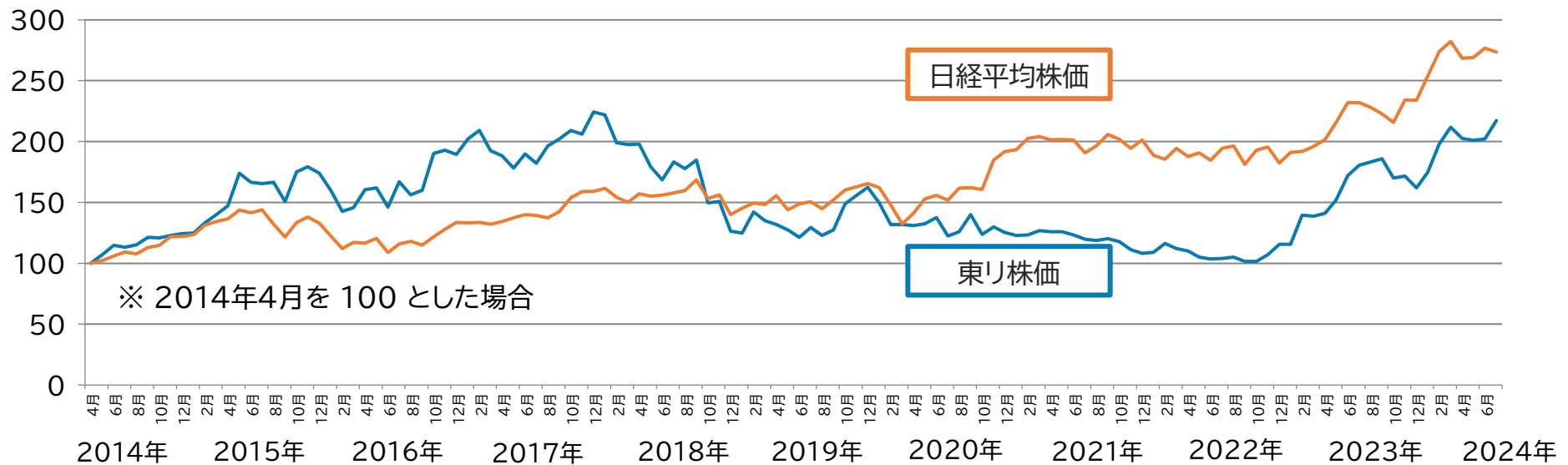
配当方針

株主の皆様への利益還元が重要な使命のひとつと認識し、安定的な配当を継続的に実施します
(配当目安：連結配当性向30%以上、またはDOE2.0%以上)



配当性向	21.8%	22.9%	20.4%	24.9%	45.8%	38.8%	35.3%	67.9%	23.5%	30.8%	37.5%
DOE (純資産配当率)	1.6%	1.9%	1.9%	1.8%	1.7%	2.2%	1.3%	1.3%	1.5%	2.6%	2.4%

株価・出来高の推移



IR資料の入手場所・方法について

トップメッセージや中期経営計画、最新のIR資料のほか、業績の推移など各種データをご参照ください。

IRサイトトップページ:

<https://www.toli.co.jp/ir/>



【IR情報ページでご覧いただける主な情報】

- ・トップページ
 - ー最新IRニュース
 - ーIRスケジュール
- ・経営方針
 - ートップメッセージ、長期ビジョン・中期経営計画
 - ー事業等のリスク
 - ーコーポレートガバナンス ほか
- ・個人投資家の皆様へ
 - ー東りの歩み・強み、事業内容 等
- ・IR資料室
 - ー決算短信、有価証券報告書 ほか
- ・業績・財務情報
 - ー業績ハイライト、チャートジェネレーター
- ・株主・株式情報
 - ー株主総会関係資料、株主還元・配当
 - ー株式基本情報 ほか



トップメッセージ



個人投資家の皆様へ



IR資料室

最新IRニュース

[IRニュース一覧 >](#)

2023.05.09 NEW	2023年3月期 決算短信 (日本)	263,943 byte	263KB	PDF
2023.05.08 NEW	業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ		106KB	PDF
2023.04.27 NEW	IR情報サイト 全面リニューアルのお知らせ		158KB	PDF
2023.03.27	中期経営計画「SHINKA Plus ONE」期間設定の修正について		855KB	PDF

株価をリアルタイムで確認する
Yahoo!ファイナンスの株価情報

最新IR資料
最終更新日: 2023.05.09

2023年3月期 決算短信 (日本基準)
(連結) [PDF](#) 257KB

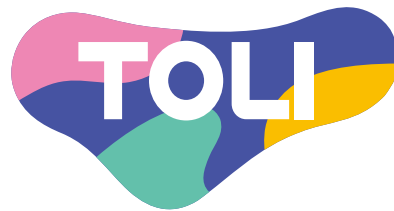
一括ダウンロード (0.2MB) [+](#)

IRに関するお問い合わせ先

東リ株式会社 経営企画部

e-mail

toli_ir@toli.co.jp



東リ株式会社

本資料に関する注意事項

本資料に記載されている東リグループの計画・戦略・見通しのうち、歴史的事実でないものは将来の業績に関する見通しです。これらは、現時点で入手可能な情報に基づいた東リグループの仮定および判断によるものであり、実際の業績等は、さまざまな要因により、これらの見通しと異なる可能性があります